

行基大橋（ぎょうきおおはし）



写真1 行基大橋（全景 上流左岸から）

(1) 橋の諸元

所在地：大阪市東住吉区
道路名：府道大阪狭山線
河川名：大和川
完成年：1978年（昭和53年）
形式：4径間連続桁（合成桁）
橋長：208.00m
幅員：20.50m
片側2車線 両側に歩道付き

(2) 橋名について

大和川付替えにより沿岸の多くの地域で左右岸の行政区が分かれている。しかしこの橋は兩岸とも大阪市東住吉区矢田にある。南側（左岸）には矢田地域の氏神である阿麻美許曾（あまみこそ）神社とその参道地域があることから、行基大橋の南詰も大阪市東住吉区で町名は矢田7丁目です。この神社に江戸時代に奈良時代の高僧である行基が居住していたという伝承があり、「行基菩薩安住之地」という石碑が建てられていることから、行基大橋という名前が付けられた。



図1 周辺地図

(3) 橋の特徴

写真2～4のとおり5本の主桁を持つ桁橋です。車道部のコンクリート床版と一体化した合成桁構造となっている。また主桁間をつなぐ横構もみられる。写真3のとおり車道部分はコンクリート床版が、また歩道部分は鋼床版が桁の上に載っている。写真4で地震時の落橋防止対策として橋台

と主桁をつなぐケーブルが設置されている。また高水敷を通る人への配慮のため鳥よけネットが張られている。



写真2 下面から見た橋



写真3 斜め下から見た橋



写真4 左岸橋台



写真5 橋面（上流側歩道から）



写真6 橋銘板

参考文献

・[大阪市ホームページ 橋の紹介 行基大橋](#)